

【資料編】

第10期中川町社会教育中期計画各種団体アンケート調査結果

★質問 1

貴団体は、どのような目的で貴団体加入者及び一般町民に対して生涯学習活動（事業）を主催・運営していますか。目的の数だけすべてお答えください。＜注＞貴団体の設立趣旨・目的ではありません。生涯学習活動（事業）を主催・運営する目的をお答えください

★質問 2

貴団体は、質問 1 の目標達成のために、どのような学習活動（事業）を主催・運営していますか。

回答：別冊「第 10 期中川町社会教育中期計画策定のための調査結果」のとおり

★質問 3

貴団体は、質問 1 に記入されたそれぞれの目的について、どの程度達成されていると考えていますか。また、そう考えている理由は何ですか。目的ごとにお答えください。

※今回ご回答が無かった団体・項目は「—」で掲載しています。

番号	団体名	No.	目的(質問1の回答)	達成度(質問3の回答)
101	ぐるうぶぱれっと	1	絵画に関わることで人生の喜びを見つけ深めたい	活動日には楽しくやっています
		2	講師を招いた時は町民に知らせ絵の楽しさを広めたい	平日に講師にきていただくことが多くひとがなかなか集まらず残念です
		3	文化祭などで展示させていただくことで絵のたのしさを広く知ってもらいたい	絵を楽しんでくれれば嬉しいです
102	なかがわ化石会	1	全町内のほとんどの地層が白亜紀であり、そこから産出の生物化石の研究と新たな生物化石の発掘と保存	教育、観光施設に相当数の常設展示
		2	会員相互の研究・学習の向上	町民の文化的遺産として認知の向上と産出化石等の提供
		3	中川町の貴重な資源の保存	—
103	フォトクラブなかがわ	1	写真の好きな気の合う仲間同士交流を深める	50% 職業の異なった会員の為、それぞれの事情により全員が集まる機械が希有による
		2	作品の展示発表をすることで町民の皆様楽しんでいただく	50% 展示発表が文化の日前後の約10日間この期間しか実施されないため。もっと町の催しとは関係なく自主的に発表の場を催すべきだと思う
104	俳句紫苑会	1	俳句を通して自然と触れ自然に関心を持つ	—
		2	同じ気持の仲間達との交流、発表の場を作る	—
		3	日本の(江戸庶民の)文化、生活を知る	—
105	陶芸サークル	1	興味ある分野なので知識、教養、技術を身につけるため	80 点 子どもへ指導ができるようになった
106	エミ・ダンスサークル	1	1人でも多くの方に社交ダンスの楽しさを知ってもらう	楽しんでもらっています
		2	新しい会員の増加を期待して活動中	道半ばです
		3	他の地域の人達(社交ダンス愛好家)との交流	交流は深めています

107	中川みなづき会	1	婦人会会員の交流と運動が目的	—
		2	老人施設(一心苑・ひだまり・ぬくもり)での慰問	—
108	中川町郷土芸能平太鼓保存会	1	和太鼓を通して地域の文化発展に寄与する。演奏を通しての和太鼓の普及	各地域での演奏要望が多くなってきている
		2	会員の演奏力の向上を図るため各種発表会、演奏会等への参加、会員の親睦と協働意欲の高揚(チームワーク)	会員相互の連帯意欲が高まり、演奏にまとまりが伺える
		3	各地域行事への参加、地域行事の活性化支援	お祭り、盆踊り、地域行事、文化祭などに参加し、成果を上げている
		4	その他、この会の目的達成のための必要な事項	—
109	中川町短歌同好会	1	茂吉との縁りを記念する町の短歌フェスティバルを絶やさないように地域のためになることを念じて、町の人々に働きかけ小・中学校の短歌教室に協力する	70% 平成7年6月の発足以来一度も休まずに継続していることは、24年余りの成果とは思いますが、地域のため？
		2	趣味として、また、生活の記録として短詩形のひとつ短歌を学び実作する	80% 実作を続けている会員には十分に。ただ、どうしても馴染みのないものとして見られがちなのが残念。
		3	広報の「町の文芸」に毎月の作品を提供し、町民、特に町を離れて遠くに住む方々に暮しの様子を伝えたい	70% 町民の多くの方々(主として友人・知人！)からコメントを頂く、離町した方々からは懐かしがられ、反応が大きい。特に生活短歌、日常詠は感想を寄せられる。
		4	毎月の例会(公民館講座、短歌教室などの不定期のものも含む)の記録を月会報「まほろば」にまとめ発刊する。現在216号。会員、購読会員及び希望者に配付。	80% 「まほろば」は会員は勿論、それ以外にもよく読まれている。特に今年度は他市町村の同好の人々からリクエストされて発送し、その結果、購読会員となった方もあり好評。
		5	年2回の公民館短歌講座に併せて講師を招き、歌会を開いて一般に紹介している。	90% 大変好評
		6	他の市町村の短歌の会との交流を計る	0% 今年度は全く出来ていない。但し、目的No.4の他市の同好の…(稚内市、短歌フェスに参加した方)を通して、希望はあります。長く交流のあった会も高齢化で閉会(美深)なり残念。
		7	会員の作品集「ぼんぴら」(現在休刊中)を再開する	0% 現在の会員数では全く見込みが立てられない。費用の点、作成に必要な時間と労力の点で…
110	中川吹奏楽団	1	音楽を演奏し楽しむ	できている
		2	個々の演奏技術の向上	練習頻度はかわらずやっている
		3	他団体等との交流親睦を図る	他団体の演奏にも友情出演できている
		4	吹奏楽を通して多くの人と音楽のすばらしさ楽しさをわかちあう	できている
		5	団員同士の交流親睦	できている
		6	青少年への指導	今年度から始めることができた

111	中川おやじ手打ちそば 愛好会	1	—	—
112	手芸サークル「手しごと」	1	手を使ってものを作る(私たちは布や糸)ことが好きな仲間が互いに材料、用具、技術を持ちよって生活と地域に役立つものをと心がける	100% 同好の仲間が自然に集まって始めた(2009.5月12日より)ので10年間みんな満足し楽しんでいるから。
		2	作品を実用の役に立て地域のためにも役に立つことを目指す。近年は社協の赤い羽根募金に協力している。	100% 各自の暮しに使えるもの、利用目的のはっきりしているものだけを考え選んで作っているから。社協で必要なもの、図書室で子ども達のために飾りなどを届けている。
		3	地域の方々の不要になった衣類などを捨てないで寄付して頂きサークルで再利用に使う。	80% 寄付されるものが多く再利用に努めているが全てを消化するのは難しい。
		4	週一度の活動をオープンにし、いつでも何度でも誰でも参加できる。	100% 見学は時々あり、特に夏の間だけ本州から町内に滞在された方々が参加。作品を完成されて、また来年もと喜んで帰られたのは大成功。
		5	プログラムを決めず、それぞれが自分の作りたいもの、実用のものを作る。	100% 作品が無駄になった、不必要だったということは全くありません。
		6	地域の行事、家庭の事情に合うようにプランし、長続きする活動に努める。	100% 出欠席も活動時間も各自の作品の製作に費やす時間も自由なので負担が少ない。
		7	作品を地域の方々や同じ趣味の人達に見て頂く。	90% 町民文化祭には展示参加し好評、道北市町村の高齢者作品巡回展に出展し好評(他の市町村の方々から電話や手紙で)、しかし、まだ、一度もサークル独自の作品展をしたことがないのが残念。
113	中川フォークダンスサークル	1	—	—
114	中川朔北歌留多倶楽部	1	—	—
201	中川町体育協会	1	中川まつりの事業の一環として「ポンピラ駅伝」を実施。	50% 小中学生の参加者数が人口減少とともに減っている。一般町民(清水建設)の協力により大人の参加が増えた。
202	中川剣道連盟	1	生涯スポーツ剣道の普及	—
		2	青少年の心身の錬磨	—
		3	自己の心身の錬磨	—
203	中川柔道連盟	1	現在、継続中の生涯学習活動はありません。	—
204	中川野球連盟	1	北海道軟式野球連盟名寄支部大会への参加	70% 名寄支部 10 大会中7大会に参加。一般の NAKAGAWA Brex チームは来年の全国大会に出場決定。
		2	野球スポーツ少年団の育成	70% 指導員3名中2名が関わったが、1名は業務等の都合により携われなかった。
		3	軟式野球の普及発展及び技術向上	100% 雨天やメンバーの日程調整がつかない日以外は全て予定どおり練習ができています。

205	中川町バレーボール協会	1	バレーボール人口の増加、スポーツ活動をした い町民にアピールする事を目的に町民バレーボ ール大会を実施	50% 参加者の増加が見られない
206	中川バドミントン協会	1		—
207	中川町ゲートボール連 盟	1	会員相互の交流及びゲートボール技術の向上	80% 会員及び愛好者の減少に伴い、参加人数 が減少している。
		2	ゲートボールの普及発展	80% 年4回の町内大会開催に向け、会員が知友 人等に参加を呼び掛け、各大会3チームリーグ戦 総当たりの競技を行っており、愛好者から会員に なっている例もある。
		3	審判員の拡大及び資質向上	40% 審判員登録者は減少しており、新規取得者 がいない。審判員の資質は町内大会の実施によ り一定の水準を保っている。
208	中川町パークゴルフ協 会	1	—	—
209	中川町スキー連盟	1	スキースポーツの普及	70% 冬休みスキー教室は、沢山の子ども達で賑 わうが、スキー級別テストの受検者は減少してい る。ナイタースキー教室も一般の方の参加がもっ と増えるといいと思う。
210	なかがわスポーツくら ぶ	1	—	—
211	N-COT	1	—	—
212	アンモナイトボーイズ	1	チーム内の絆を強くする	40% 練習会や懇親会により、打ち解けるようにな ったため
		2	体力向上、健康的な体づくり	30% 試合で走れる体力がないため
		3	ユニフォーム作成し、大会へ出場する	ユニフォームは完成しているが、メンバーの都合 が合わず大会へ出場できていないため
		4	活動メンバーを増やす	メンバーは増えているが、練習で全員揃うことは 難しく5対5など人数を必要とするメニューができ ていないため
301	中川町地域子ども会育 成協議会	1	中川町内の単位子ども会育成会を統轄するととも に、育成会相互の連絡協調にあたり、もって中川 町地域子ども会の健全な発展に寄与すること。	達成されている。各単位会との連携を図り、中川 町の子ども会会員を対象とした各種事業を行って いるから。
302	1区子ども会	1	—	—
303	2区子ども会	1	—	—
304	3区やまびこ子供会	1	—	—
305	4区子ども会	1	地域の子ども、子ども達との相互交流	70% 子どもの人数が減り、学年がバラバラでも 小学生は遊べるが、中学生は交流しにくい時が ある。
		2	活動を通じて地域の環境・生活等を考え、自立心 を育む	90% 七夕まつりで地域とのつながりを強く感じる ことができている。

306	5区子ども会	1	子ども同士の交流を図り、健全育成に努める。	達成されている。子どもが参加できている。
307	誉子ども会	1	—	—
308	大富子ども会	1	子ども達の親交と教育	幼児から中学生、大人を交えてのレクリエーションが協調性、自主性、思いやり、社会性を育める
		2	子ども数の少ない農村部の子ども会で合同イベントの開催(年1回、大富・誉・国府・歌内)	少人数では開催困難だが、合同だと開催できるから
		3	親子さん達の懇親	昼食時などに、子育て等の情報交換、懇親が行える
309	歌内・国府子ども会	1	—	—
310	佐久子ども会	1	—	—
311	中川町スポーツ少年団本部	1	—	—
312	中川柔道スポーツ少年団	1	現在、継続中の生涯学習活動はありません。	—
313	中川剣道スポーツ少年団	1	—	—
314	中川バレーボール少年団	1	—	—
315	中川野球スポーツ少年団	1	—	—
316	中川スキースポーツ少年団	1	—	—
317	幼児センター	1	地域の色々な人との交流や場所を活用し、自分の住む町を知り愛着を持つ	ほぼ達成できている。 地域全体や地域人材の活用を行うなどし、就学前の様々な体験が豊かになるようにおこなっている。
		2	食に関する様々な体験を通し、「食べる」ことを大切に作る気持ちを培う	
		3	生活の中の様々な体験や経験を力にして、生きる力の基礎を培う	
		4	異年齢や異世代との交流を図り、愛おしく思う気持ちや労わろうとする気持ちを育てる	
318	幼児センター父母の会	1	保護者同士の交流を深め、「みんなで育てる」気持ちを持つ	達成されている。一緒に育つことを喜び合える関係性ができている。
319	地域子育て支援センター	1	子育て家庭のつながり合いの場を作り、安心した子育て環境をつくる	利用者の固定等はあるが、できている。
		2	子育てに関する様々な情報の提供	
		3	保護者の自主子育てサークルの育成	利用者が、主体となり月2回程度実施できている。
		4	子育て講座による学びの機会を作る	地域の団体や地域おこし協力隊等を講師として実施している。

320	中央小学校	1	様々な情報収集の方法を考え課題を追究する活動の充実	—
		2	地域の魅力を再発見し、街づくりの担い手としての自覚や誇りを持つことのできる学習活動の促進	—
		3	自然や地域社会とのかかわりから、地域社会の一員として街づくりに関わる教育の充実	—
		4	身近な環境のすばらしさを知り、環境保全という観点から自分の生活を振り返ることができるふるさと学習	—
321	中川中学校	1	地域内外の教育資源を活用し、より効果のある授業をつくり、生徒の資質・能力の向上を目指す	概ね達成。人材の新陳代謝や事業のリニューアル等も必要な時期にある
322	中川町PTA連合会	1	家庭や地域の教育力向上を目指す	概ね達成している。事業及び研究大会の動員等、完了している
323	中央小学校PTA	1	児童の健全育成のため、望ましい家庭教育のあり方についての会員研修を積極的に推進する	ある程度達成。各種研修会への参加、町内で開催される講演会への参加、生活リズムを整えるための取組を通して、会員研修を進めている
		2	児童の教育環境の向上を図るため、校舎及び周辺環境の整備と美化に努める	ある程度達成。校舎のガラス拭き作業には多くの会員の参加があり美化活動が進められている。また、運動会前のグラウンド整備は専門部が中心となり行っている
		3	児童を事故から守るため、交通安全対策の徹底を図る	ある程度達成。交通安全特別対策委員会の活動として、街頭指導(月2回)と家庭での交通安全啓発を行っている
		4	中学校、関係機関との連携を密にし、児童の健全育成を図る	ある程度達成。中川町PTA連合会や上川北部PTA連合会、教育委員会等と連携を図り、各種業務の推進を図っている
		5	会員相互の親睦、交流を深め、児童の健全育成に資する	達成。9月のPTAミニバレーボール大会には多くの参加があり、練習、本番当日と親睦、交流が図られている。運動会でのPTA種目にも、意欲的に参加してくれる会員が多い。

324	中川中学校 PTA	1	会員の学習機会づくりと環境整備	概ね達成している。総会にある事業全てについて完了している
401	町内会連合会	1	—	—
402	中川町社会福祉協議会	1	—	—
403	中川町老人クラブ連合会	1	会員同士の交流、親睦、情報交換を図る	8割。研修内容(講演等)、天候による参加率の変動
405	中川婦人会	1	会員相互の親睦は言うに及ばず、婦人は家庭の太陽となるべく日々の暮らしの中で、毎日の暮らしが楽しく過ごせて、ストレス発散し明日への生きる力を生み出すために、色々なサークル活動や地域行事に参加し地域文化の継承を担っています	100%。多くの皆様の参加と素晴らしい仲間が多様な活動をしております。人と人との助け合い、横の繋がりを大事にした団結力はすばらしいと思います。中川町には、無くてはならない婦人会だと思っております。
		2	会員各位の健康増進	80%。毎週、色々なサークル活動で、体、頭を使い健康増進を図っております。
		3	老化防止	100%。老化防止の3原則は、運動、コミュニケーション、好奇心だと言われております。婦人会は、この3原則を確実に実践しております。
		4	社会への貢献、各種団体の行事の協力	100%。敬老会、文化祭、一心苑、秋味祭り等の協力、消防事業、日赤事業と地域の行事には成果を上げていると思います。
406	NPO 法人 ECO の声	1	—	—
407	NPO法人エコール咲く	1	地域資源を活用した商品開発	地域資源を活用した商品づくりの魅力を伝える。「地域のいいもののお裾分け」のコンセプトで商品づくりができていると思う。
		2	エコミュージアムセンターを中心とした社会教育施設の管理	地域住民と共に関わりを持ちながら環境整備ができている
408	中川町観光協会	1	—	—
409	中川町ナナカマド林業グループ	1	豊かな自然環境の中で、ネイチャーゲームや木工を楽しみ人間の暮らしと森林の関係を考える	5年間で延べ500人以上に参加してもらった。

中川町エコミュージアムセンター	1	児童生徒が自然科学を体験し学習する場を提供する	普及事業については、学校教諭と連携した町民対象の事業を取り入れ、各回とも概ね町内の児童生徒の参加が見られている状況にある。その他、総合的な学習の時間や理科などに地層や化石について学習するフィールドワークを行っているほか、中学校と連携して中川の子産業であるハツカに関する学習活動を行っている。
	2	中川町の学術・文化を町内外に発信する	普及事業のほか、特別展を含む博物館展示・ホームページでの発信や新発見や事業成果についてはマスコミに情報提供する等して、さまざまなメディアを通じて情報発信に努めている。博物館には年間約 3000 人の来館者が訪れており、その他に宿泊研修などで近隣の小中高生がエコミュージアムセンターを利用し、その中で地層や化石を中心とする中川の地域特性について学習する機会となっている。
	3	先人たちが築き上げてきた中川の歴史や文化を次代に継承していく	過去の普及事業の中でポンピラ塾や佐久老人クラブの皆さんにご協力いただきながら活動を行っている。また、佐久老人クラブと連携したハツカの蒸留活動を行っている。また、町民からの化石や写真、昔の道具等の寄贈があるなど、町の歴史の掘り起こしの動きが形成されつつある。
	4	住民が「地域の魅力」を新・再発見し、それらを町内外や次世代に伝えていく“ひと”の動きを形成する	地層観察教室や森の学校等の普及事業で町民の方々にご協力いただいている。また遺跡調査なども町民主体のメンバーで実施している。それらの事業に携わった専門家等から中川の自然史や郷土史についての情報を得て、自ら中川の歴史について学ぶことができており、それらを児童生徒や普及事業の町外参加者に解説することができている。平成 25 年度より NPO 法人となった地域協力隊「エコール咲く」の中でも、中川の素材を使った食事メニューの提供、商品の開発やミュージアムショップの運営、展示解説など、中川の魅力を伝える動きができている。斎藤茂吉の愛した中川の味を再現したコースをつくるなど中川の歴史を見つめなおし、後世に伝える動き、地域づくりにつながる展開が萌芽しつつある。

中川町教育委員会	1	家庭教育 ・子育て世代が安心して子育てができる環境づくりを進める。 ・子育て・親育ちを親子一緒に学び、高めていくための取り組みを実施・支援し、参加しやすい学習条件の整備を進める。	図書室行事など、親子、親を対象とした事業を、児童クラブや子育て支援センター・幼児センターと連携して実施したり、教育講演会のなかで、家庭教育に関する話題提供をしていただける演者を招聘している。
	2	青少年教育 ・「中川の子どもの教育目標」を学校・地域で共有し、地域教育力を活用した青少年の育成を進める。 ・生涯学習活動を通じて、若年層の地域づくりへの参画を促す。	少年については、長期休業期間を中心にさまざまな分野で子どもを対象とした事業を実施できおり、小学生を中心に参加がある。
	3	成人教育 ・生涯学習活動を通じて次世代を担う地域リーダーおよび指導者を養成し、地域の教育力を向上させる。 ・生涯学習活動への参加を促し、学習成果を学校・地域に還元するよう努める。	学習活動については、文化、体育の領域で各々のサークルが主体的に活動しており、その都度支援できている。また、文化団体・体育協会等と連携して社会教育・体育事業を実施できている。一部の団体で学校等での指導を実施できている。
	4	高齢者教育 ・隠れた能力を引き出し経験や知恵を次世代につないでいく。 ・年齢に応じた事業を構築し、学ぶ意欲を充足し、生きがい・健康づくり、そして地域づくりにつなげる学習を推進する。	高齢者学級ポンピラ塾は、「学習の成果を活かす活動」を中心に実施され、学校との連携も生まれている。エコミュージアムセンターでは佐久老人クラブと連携した薄荷蒸溜再現なども実施している。それぞれ、学習者であるとともに次世代に伝達する役割を果たしている。高齢者教育の高齢化が起きている。

★質問4

今後どのような生涯学習活動（事業）をしたいですか。そのためには何が必要ですか。自由にお答えください。

※今回ご回答が無かった団体・項目は「—」で掲載しています。

番号	団体名	今後活動したいこと	そのために必要なこと
101	ぐるうぷぱれっと	もう少しメンバーを増やしたい。	絵を画くことの楽しさを知ってもらいたい。
102	なかがわ化石会	道内外の同様グループ、自治体施設の研修	交通経費、交通手段の支援
103	フォトクラブなかがわ	1.テーマごとの発表会、コンテスト年4回程度(春夏秋冬)例えば、参加者全員が同一のテーマを独自の解釈で「夜景」「季節」などといった時間や場面の切り取り方を1枚の写真(フोटグラフ)に表してみたい。 2.カメラや光学機器、有名なシーンの写真の撮影秘話等の勉強会	1.例会やメール等を駆使して、会員に「テーマ」と「納期」を告知。発表会開催。審査は一般町民に投票してもらい、お知らせ君等活用による審査参加要請の告知。優秀作品を広報なかがわ等で発表。その年の歴代の優秀作品の常設展示やフォトブック(写真集)として補完する。 2.例会の場で、機材の種類や歴史、特徴、撮影関連等々を自分達で調べプレゼンテーションする。優秀なエピソードがプレゼンできたのなら、町民の皆様に公表できる機会を設立したい。
104	俳句紫苑会	吟行、句会活動。小中学生にも俳句に関心を	俳句に興味関心のある人達の協力。
105	陶芸サークル	これまで通りの活動を続けること。ろくろ、とびかな、色つけの先生に指導されたい。	先生を呼ぶには経費がかかる。
106	エミダンスサークル	ダンスパーティー、地域交流パーティーをやりたい。できる限り。	人手・運営費・広く宣伝すること。
107	中川みなづき会	会員もいなくなり解散を考えています	—
108	中川町郷土芸能菅平太鼓保存会	新しい曲を作って演奏会を再びやりたい。	会員の増加と会員個々の活動時間の確保と活動費用の充足
109	中川町短歌同好会	会員を増やしたい、活動を続けるために。他の市町村の会と交流したい。作品集「ぽんびら」を例え数年に一度でも発行したい。町内、出来れば町外の短歌にゆかりのある所へ吟行(かつては年に一度実行)	会員数、費用、時間
110	中川吹奏楽団	子ども達の活動を根付かせたい。将来的には吹奏楽団の中ではなく単独の活動になれば良い。	楽器経験者の協力
111	中川おやじ手打ちそば愛好会	現在、会員相互のそば打ち及びそば汁の作成についての勉強会を実施している状況です。その他エコ・セン利用者からの「そば打ち体験実施」時に指導協力する程度で、一般町民を対象にそば打ちの普及促進を図るものではない。又、町、公民館、社協、商工会等主催の各イベント開催時、出店要請の時は協力を努めたいと考えている。	—

112	手芸サークル「手しごと」	私たち独自の作品展・バザーをしてみたい。 寄付されている古い着物、布などを何かの形で 地域に還元したい。 年に一度は大きな作品展(札幌では全国的なキ ルトショウが毎年)を見学に行ってみたい。(かつ ては実行していましたが現在は無理)	時間
113	中川フォークダンスサークル	—	—
114	中川朔北歌留多倶楽部	—	—
201	中川町体育協会	—	—
202	中川剣道連盟	—	—
203	中川柔道連盟	継続的な競技練習及び各種大会への参加	競技者及び会員の増員
204	中川野球連盟	引き続き、軟式野球の普及発展及び技術向上を 図るため、中川町営球場を利活用する。	球場の維持管理
205	中川町バレーボール協会	—	—
206	中川バドミントン協会	—	—
207	中川町ゲートボール連盟	—	—
208	中川町パークゴルフ協会	—	—
209	中川町スキー連盟	スキーの楽しさを伝えるために、講習会を行い、 自己の技術向上も目指したい。	指導員の技術の研鑽、チームワーク、気づき。
210	なかがわスポーツクラブ	—	—
211	N-COT	—	—
212	アンモナイトボーイズ	活動メンバーを増やす(中川町でバスケットボ ールの普及)	子どもから社会人までバスケットボールに触れ、 興味を持ってもらえるよう練習会に参加してもら う。
301	中川町地域子ども会育成 協議会	PTA および学校との連携をより緊密にする。子ど もリーダーの養成。単位子ども会の運営に子ども たちが率先して参加できるような環境づくり	会員への活動内容の周知と参加促進。
302	1区子ども会	—	—
303	2区子ども会	—	—
304	3区やまびこ子供会	—	—
305	4区子ども会	保護者の企画ではなく、子ども達が主体的に考え た企画を行いたい。	子ども達の自由な発想と、それを実現できる育成 会の力。
306	5区子ども会	子どもがリーダーシップを発揮できるような行事	予算
307	誉子ども会	—	—
308	大富子ども会	現状維持	幼児～中学生までが楽しめる道具(今でも、あり がたく使わせてもらっている)
309	歌内・国府子ども会	—	—
310	佐久子ども会	—	—
311	中川町スポーツ少年団本 部	—	—

312	中川柔道スポーツ少年団	継続的な競技練習及び各種大会への参加	競技者及び会員の増員
313	中川剣道スポーツ少年団	—	—
314	中川バレーボール少年団	—	—
315	中川野球スポーツ少年団	—	—
316	中川スキースポーツ少年団	—	—
317	幼児センター	—	—
318	幼児センター父母の会	—	—
319	地域子育て支援センター	—	—
320	中央小学校	—	—
321	中川中学校	平成30年度より、学校運営協議会が立ち上がった。この会が地域社会と共につくる教育課程の柱となっていくと考えられます。	研修会に協賛会員と教員で参加が望ましい
322	中川町PTA連合会	同様の促進を行っていく	—
323	中央小学校PTA	—	—
324	中川中学校PTA	過年度事業を踏襲することで精一杯です。生徒の減少もあり保護者のPTA活動の意識も変化しています。学校への参集することへの負担を発する方もいらっしゃいます。	—
401	町内会連合会	—	—
402	中川町社会福祉協議会	—	—
403	中川町老人クラブ連合会	—	—
404	中川町友愛会	—	—
405	中川婦人会	中川婦人会も70周年の節目を終え、次は80周年を目標としています。ですが、地域社会を取り巻く環境は目まぐるしく変化し、地域の絆である人と人との繋がりが希薄になりつつありますが、婦人会は記念誌のタイトルにもあります様に「絆」、これを忘れないで前進して行きたいと考えております。	高齢化と過疎の町に会員の増加は望むべくもありませんが、各行事の折に婦人会の活動が楽しいものである事をもっとアピールし何とか世代交代を計ってゆきたいと考えております。どうぞ自治体職員の皆様も一緒に婦人会活動を応援して下さい。
406	NPO 法人 ECO の声	—	—
407	NPO 法人 えこーる咲く	—	—
408	中川町観光協会	—	—
409	中川町ナナカマド林業グループ	「りんぐすの集い」などを継続する	学校との連携、人材確保、組織の高齢化が課題

第10期中川町社会教育中期計画パブリックコメント結果

提出方法	中川町役場住民課幸福推進室窓口、生涯学習センター図書室、中川町ホームページに設置された意見提出用紙に記入のうえ、中川町役場住民課幸福推進室窓口及び生涯学習センター図書室に設置された意見提出箱への投函、中川町教育委員会への持参、郵送、Eメールのいずれかにより
募集期間	令和2年1月24日から2月15日まで
提出された意見の件数	3件

1	中川町・男性・18～29歳
内容	一貫して電子メディア、スマホが悪というように捉えられているように感じます。電子メディアやスマホはあくまでも道具(包丁と同じ)だと思っており、使い方や教育を誤れば非常に危険な物である一方で、非常に有用なツールでもあります。私は若い世代なのでスマホも使い、ゲームもしますが、それ以上に、日経で記事を読んだり、学習機会に(わからないことをすぐに調べられる、FacebookなどのSNSで最新情報、気になっていた情報が共有される)なっておりかかせない存在です。都会とは異なるからこそ、都会と変わらず利用できる、同じサービスや質を共有し利用することができる電子メディア、スマホはむしろ積極的に使っていき、有用な使い方を外部講師や、町での勉強会などから学んでいき、うまくつきあっていく事が大切だと思います。
2	中川町・男性・18～29歳
内容	ゲームについて、自制せずに行う等の問題があり、学習等に影響する危険性はある。しかし、世界では e-sports が注目されており、将来的にはオリンピック競技の1つになるのではとされている。 その中で、海外を通したゲームではネイティブな英語に触れることができ、戦略ゲームではチェスに似た脳の使い方がされ思考力が伸びるという報告がある。 身体面においても、Nintendo-Switch のリングフィットは体幹に良い効果があり、体を動かす子供には特に効果が高い。成人も1ヶ月で体が引き締まる報告があった。 中々現実的ではないが、頭や体に良いと言われるゲームを通じて教育会のようなものを開くのも思い切った1つの手ではと考えている。
3	中川町・女性・75歳以上
内容	高齢者の…分野で 高齢者学級 充実していて運営(日時やプログラムの選定、車による送迎など)もよく満足。参加者が固定しがちなのは難問ですが解決策は？ 興味ある行事はほとんど日曜日に、又、たとえ週日であっても夕刻おそくなるが多いため公共の交通手段がなくて諦めざるを得ない高齢者もあります。解決策は？ 例、小・中学校の地域参観日、運動会、学校祭など

諮 問

令和元年9月2日

中川町社会教育委員会

委員長 河瀬 秋 廣 様

中川町教育委員会

教育長 高 橋 信 行

中川町社会教育中期計画の策定について（諮問）

このことについて、下記の通り諮問いたしますので答申くださるようお願いいたします。

記

1. 諮問事項 第10期中川町社会教育中期計画（令和2年度～6年度）
2. 計画期間 自令和2年4月1日 至令和7年3月31日
3. 答申期日 令和2年3月31日
4. 諮問理由

現在、中川町の社会教育は第9期社会教育中期計画（平成27年度～令和元年度）に基づき推進されております。この間、中期計画に基づき、生涯学習センターの機能を活用した研修・講座実施・各種団体・サークルの活動の支援等、社会教育の充実に努めてまいりました。

この間、IT社会や少子高齢化による人口減少社会、グローバル化やAIの発展などによる変化が激しく予測困難な未来への不安感が増幅するなど、町民の生活環境や生活意識にも大きな影響を及ぼしています。また、地域における人のつながりの希薄化や地域教育力の低下等、子どもたちを取り巻く環境にも変化が生じています。

平成31年度よりスタートした第7次中川町総合計画では、「森と大地と天塩川いっしょでなくかい中川町」を将来像として、健康づくり・スポーツ活動の普及、地域文化の振興・歴史と文化遺産の継承、生涯学習の推進・学校教育及び社会教育の充実が挙げられています。

また、総合教育会議において町長と教育委員会が協議・調整を行い策定した第2期中川町教育大綱（計画期間：令和元年度から5年間）では、本町の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策について、その目標（めざす姿）や施策の根本となる方針を総合的に定めています。

今日の社会情勢や教育の現状を加味すると、社会教育は町民が豊かで潤いのある生活をおくる上で重要であり、また地域づくりのベースとなる人づくりを進める生涯学習のあり方、次代を担う子どもたちの健やかな成長のため、家庭・地域・学校・行政の協働し、多様な地域の人に関わりながら、地域ぐるみで子どもを育てる地域教育力の向上等、生涯学習・地域づくりの観点に立った社会教育の振興方策が求められています。

このようなことから、中川町における今後の社会教育行政のあり方について、第7次中川町総合計画及び第2期中川町教育大綱との整合性を図りながら、第9期中川町社会教育中期計画の反省・評価を踏まえ、第10期社会教育中期計画の策定について諮問いたします。

答 申

第10期中川町社会教育中期計画について

令和2年2月21日

中川町教育委員会

教育長 高 橋 信 行 様

中川町社会教育委員会

委員長 河 瀬 秋 廣

令和元年9月2日付けをもって諮問のありました「第10期中川町社会教育中期計画」について、社会教育委員7名、スポーツ推進委員9名による「第10期中川町社会教育中期計画策定委員会」を組織し、全体会議、審議分野別会議において、本町の社会教育行政の全般にわたり今後のあり方について審議を重ね、その結果を本答申としてまとめました。

本答申は、生涯学習のまちづくり推進の概念に基づき、社会教育の充実を図り、学校・家庭・地域社会の持つ教育機能の充実や連携・融合を図るとともに、町行政や教育行政の今日的課題などを踏まえ、第7次中川町総合計画及び第2期中川町教育大綱との整合を図りながら策定したものであります。

本答申が、教育委員をはじめ、町及び関係機関、生涯学習団体や町民各位の生涯学習社会推進の指針として今後の行政施策に十分反映され、心の豊かさとうるおいを実感し楽しみと活力あふれる地域づくりに役立てられることを切に願うものであります。

第10期中川町社会教育中期計画策定委員会設置要綱

(目的及び設置)

第1条 中川町社会教育中期計画の策定にあたり、中川町社会教育中期計画策定委員会（以下「策定委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 策定委員会は、教育委員会の諮問に基づき、中川町社会教育中期計画の策定に関する必要な事項について調査審議し、教育委員長に答申するものとする。

(組織)

第3条 策定委員会は、委員20名以内をもって組織する。

2 委員は、次にあげる者のうちから教育長が委嘱する。

(1) 社会教育委員

(2) スポーツ推進委員

(任期)

第4条 委員の任期は、委嘱の日から当該諮問にかかる審議が終了し、教育委員長に答申するまでの期間とする。

(委員長及び副委員長)

第5条 策定委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選により選出する。

2 委員長は、会務を総理し、策定委員会を代表する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき若しくは欠けたときには、その職務を代理する。

(会議)

第6条 策定委員会は、委員長が招集する。

2 策定委員会の会議は、対象委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。

3 策定委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

(資料の提出等の依頼)

第7条 策定委員会において、必要とあると認めるときは、関係者に対し、資料の提出及び出席を依頼し、参考意見又は説明を求めることができる。

(庶務)

第8条 策定委員会の庶務は、教育委員会事務局において処理する。

(委任)

第9条 この要綱に定めるもののほか、策定委員会の運営に関し必要な事項は、教育長が別に定める。

附則

この要綱は、令和元年8月1日から施行する。

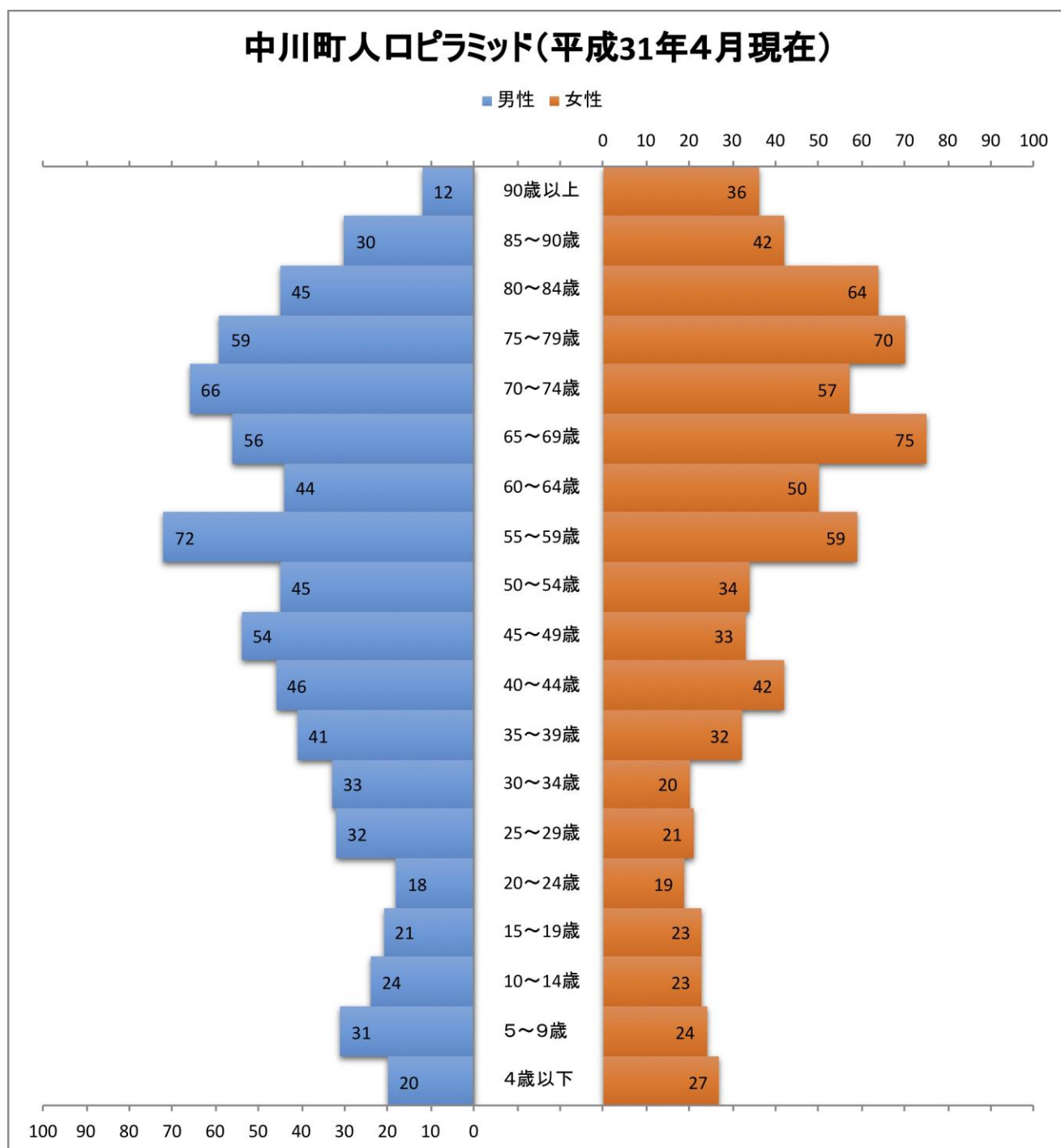
第10期中川町社会教育中期計画策定委員名簿

役職	委員名	所 属	審議分野
委員長	河瀬 秋廣	社会教育委員会委員長	—
副委員長	久保田 栄寿	スポーツ推進委員会委員長	—
委員	菊池 茂樹	社会教育委員	①家庭教育、青少年、学習条件整備
委員	中山 洋	社会教育委員	①家庭教育、青少年、学習条件整備
委員	渡部 俊彦	社会教育委員	②成人、高齢者、学習条件整備
委員	高橋 綾	社会教育委員	①家庭教育、青少年、学習条件整備
委員	亀井 依子	社会教育委員	①家庭教育、青少年、学習条件整備
委員	皆川 正好	社会教育委員	②成人、高齢者、学習条件整備
委員	松原 渚	スポーツ推進委員会副委員長	①家庭教育、青少年、学習条件整備
委員	舟林 祐二	スポーツ推進委員会副委員長	②成人、高齢者、学習条件整備
委員	島津 純子	スポーツ推進委員	②成人、高齢者、学習条件整備
委員	松岡 明美	スポーツ推進委員	②成人、高齢者、学習条件整備
委員	島津 弘美	スポーツ推進委員	②成人、高齢者、学習条件整備
委員	北城 勇太	スポーツ推進委員	②成人、高齢者、学習条件整備
委員	堀田 祐介	スポーツ推進委員	①家庭教育、青少年、学習条件整備
委員	才木 雅人	スポーツ推進委員	①家庭教育、青少年、学習条件整備
事務局	事務局長： 疋田吉識 事務局員： 及川光雄、遠藤悠登（以上学校連携）、松永裕史、横井勇太郎（以上社会教育）、横山和枝、松原修二（以上社会体育）		

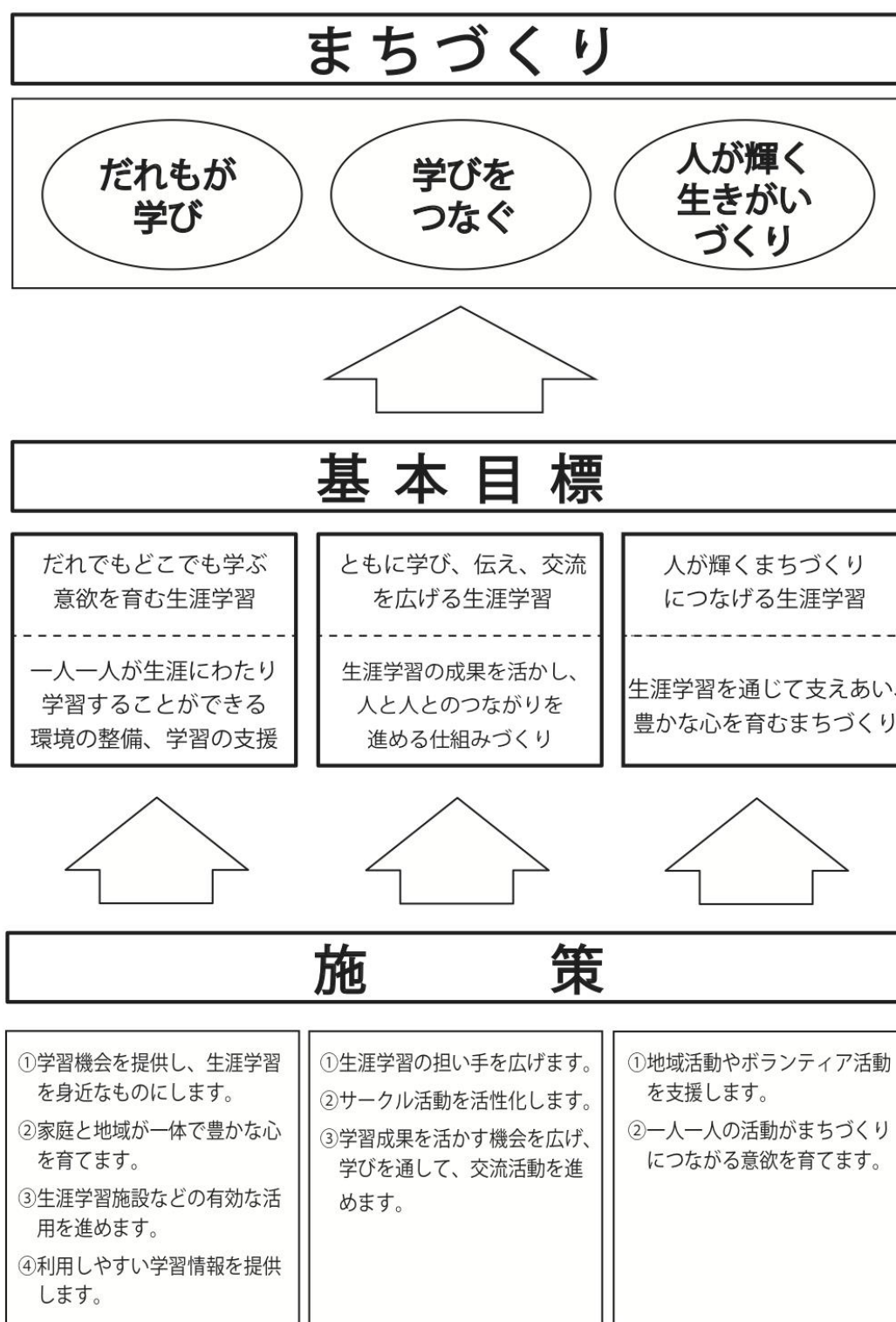
第10期中川町社会教育中期計画審議の経過

日程	会議名等	主な内容
令和元年8月1日	第10期中川町社会教育中期計画策定委員会設置要綱施行	社会教育委員7名、スポーツ推進委員9名から構成
9月2日	諮問	高橋信行教育長から河瀬秋廣社会教育委員長に「第10期中川町社会教育中期計画」策定を諮問
9月2日	第1回策定委員会議	委員の委嘱、委員会設置、正副委員長の選出、策定方針の決定、生涯学習団体活動調査素案協議
9月11日	生涯学習団体活動調査実施	59団体郵送
10月	生涯学習団体活動調査回収、集計	計画策定の資料となる生涯学習団体調査結果の作成
11月13日	生涯学習団体活動調査集計結果送付	集計結果を策定委員に送付。各自で現状分析、問題点、課題の洗い出し
11月19日	第2回策定委員会議	策定委員を2グループに分け、調査結果などをもとに策定に向けての現状分析、問題点・課題について議論。 第1グループ：家庭教育、青少年、学習条件整備 第2グループ：成人、高齢者、学習条件整備 第3回策定委員会議は各グループで日程調整をして実施する
12月3日	第3回策定委員会議（第2グループ）	家庭教育、青少年、学習条件整備分野について、調査結果などをもとに策定に向けての問題点・課題の洗い出し、推進項目、目標の設定について議論
12月10日	第3回策定委員会議（第1グループ）	成人、高齢者、学習条件整備分野について、調査結果などをもとに策定に向けての問題点・課題の洗い出し、推進項目、目標の設定について議論
令和2年1月21日	第4回策定委員会議	審議分野毎の審議内容の確認、目標推進項目の検討を行い、パブリックコメント用の素案を決定
1月24日	パブリックコメント告知	町広報（お知らせ版）及び町のホームページによるパブリックコメントの告知
1月24日～ 2月15日	パブリックコメント募集	町のホームページ、役場、生涯学習センター図書室で素案公表及び意見募集
2月18日	第5回策定委員会議	パブリックコメントについて審議し、中期計画協議
2月21日	答申	第10期中川町社会教育中期計画を答申

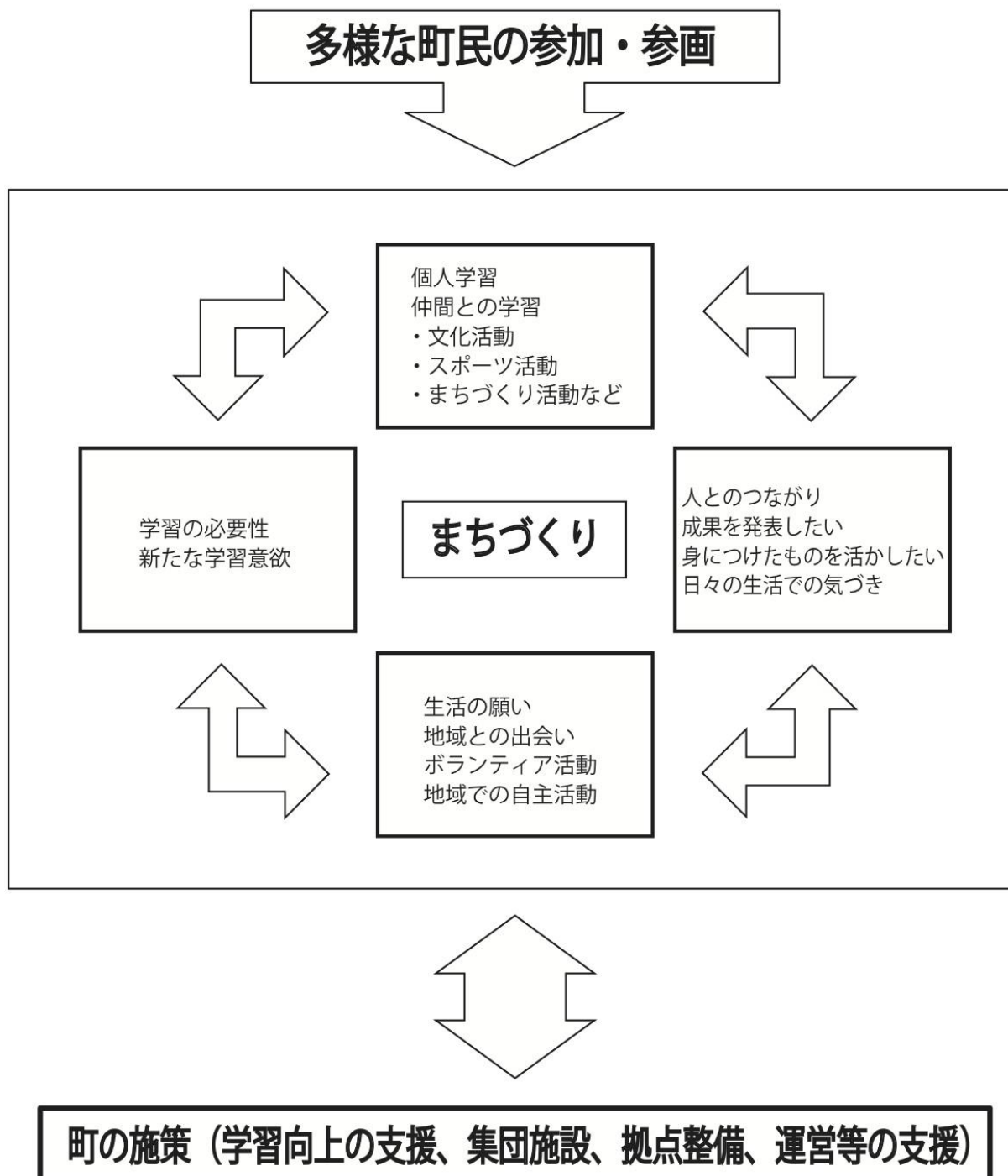
附図



中川町 生涯学習のまちづくり構想図

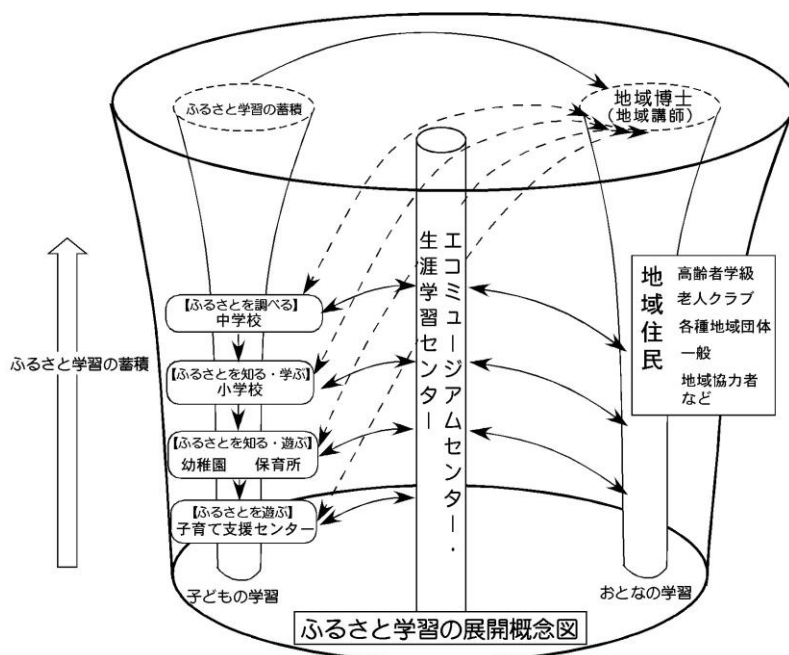
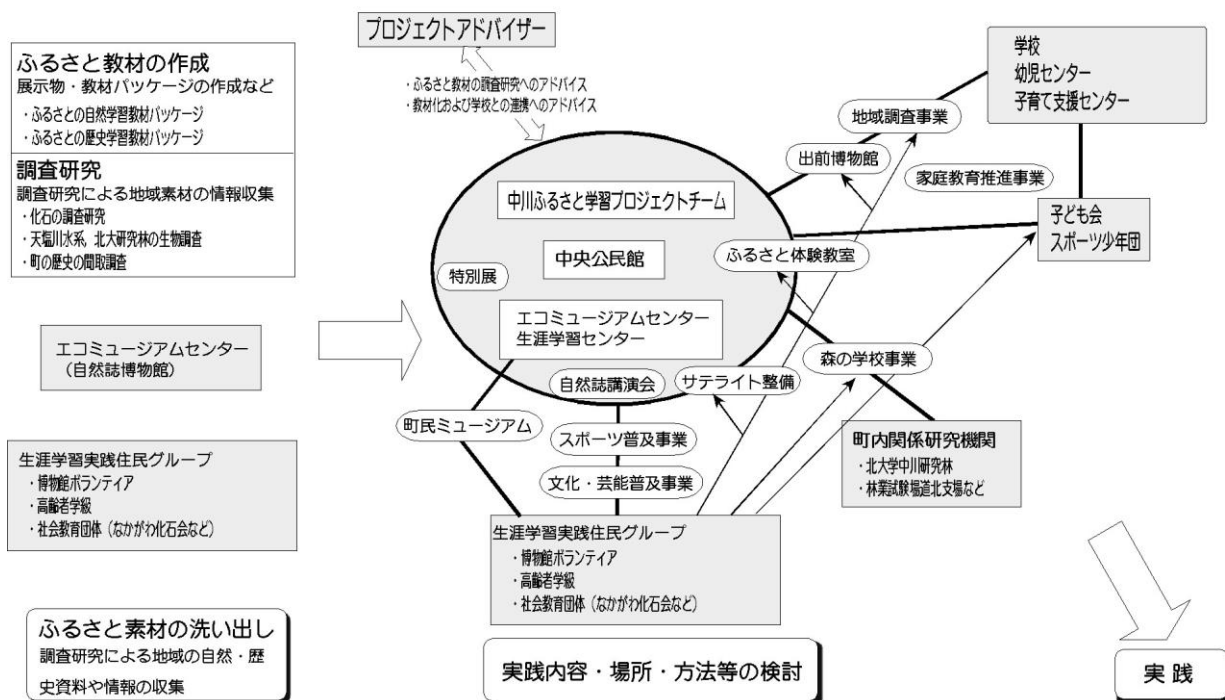


◆まちづくりは、「町民の参加・参画」が鍵となります◆



中川ふるさと学習プロジェクト構想図

- 【目的】
- 幼小中一貫教育体制
 - 地域還元型生涯学習体制の構築
 - 「地域の魅力」の新・再発見



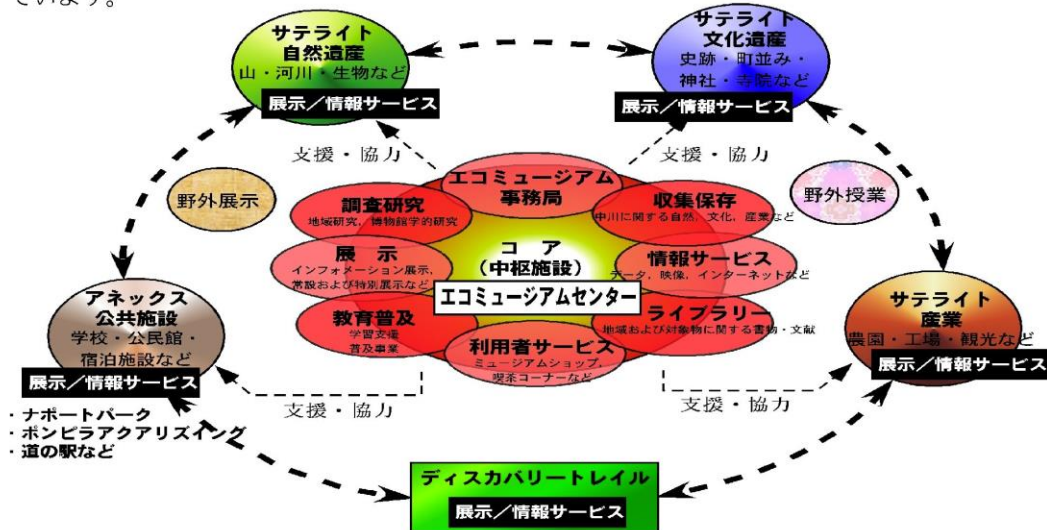
「中川ふるさと学習プロジェクト」は、「ふるさと教材」を「ふるさとの人材」で学習する取り組みです。学校教育と社会教育そして地域と連携した「ふるさと学習」の取り組みは、中川エコミュージアムのソフト面での展開に位置づけられます。「ふるさと学習プロジェクト」は、平成17年度文部科学省社会教育活性化21世紀プランのモデル事業に指定され、北海道教育庁上川教育局から平成17年度上川管内教育実践表彰を受けました。

中川エコミュージアム構想

エコミュージアムとは

エコミュージアム（エコミュゼ）は、1960年代にフランスの小さな村が過疎脱却を目指し村の歴史および産業遺産を現地保存しながらまちづくりを進めていく過程で、誕生しました。

「エコミュージアム」は、エコロジー（生態学）とエコノミー（経済）を意味する「エコ」と博物館を意味する「ミュージアム」をあわせた造語で、「地域まるごと博物館」「生活・環境博物館」ともいわれます。日本では山形県朝日町がいち早くエコミュージアムのまちづくりをとりいれ、現在では計画段階のものも含め、80以上の自治体でエコミュージアムの考え方によるまちづくりが進められています。



中川町エコミュージアムセンター「エコールなかがわ」は、中川エコミュージアムのコア施設です。私たちは、先人が残した有形無形の文化財産、史跡、産業遺産や自然・環境などを「町民一人ひとりが学芸員」となって調査・研究・保存し、次世代に伝えていきます。そしてすばらしい中川の地域財産と最新の学術情報、そして地域の誇りを全国に発信していきます。

- 地域にある多様な「財産」を住民自身が発見・評価し、さらに研究フィールドとしての学術情報を発信していきます。
- 森林・地層などの自然を通じた学習の場として、世界・全国に開かれた学びと交流の場として活用していきます。
- 地域住民の参加による施設運営など、住民による「地域の魅力づくり」の拠点となります。



日本最大クビナギリユウ



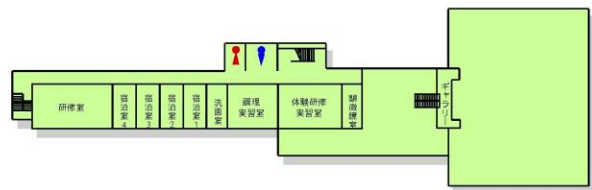
アンモナイト



ボランティアによる食事提供



国際学会の巡検



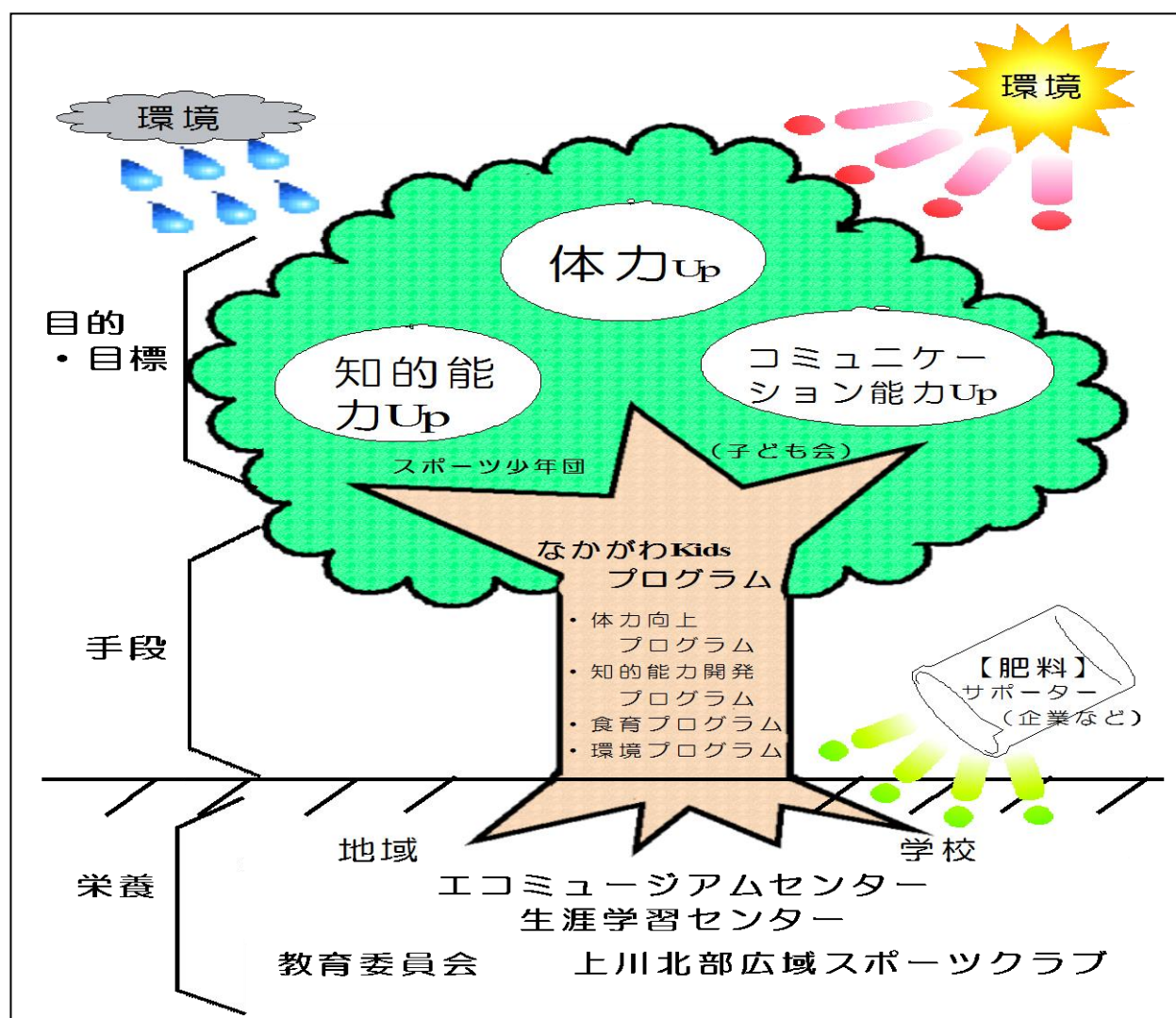
中川町総合型地域スポーツクラブ「なかがわスポーツくらぶ」

活動の理念

子ども達の、体位、体力の向上と正しい生活習慣や、社会性、団体活動、コミュニケーション能力などの知識を身につけさせ、運動能力と文化的教養のバランスのとれた「健やかでたくましい心身」を持った子ども達の育成を図る。

組織 体育協会、スポーツ少年団本部（剣道・柔道・野球・スキー・バレー）、スポーツ推進委員会、町教委、住民課幸福推進室

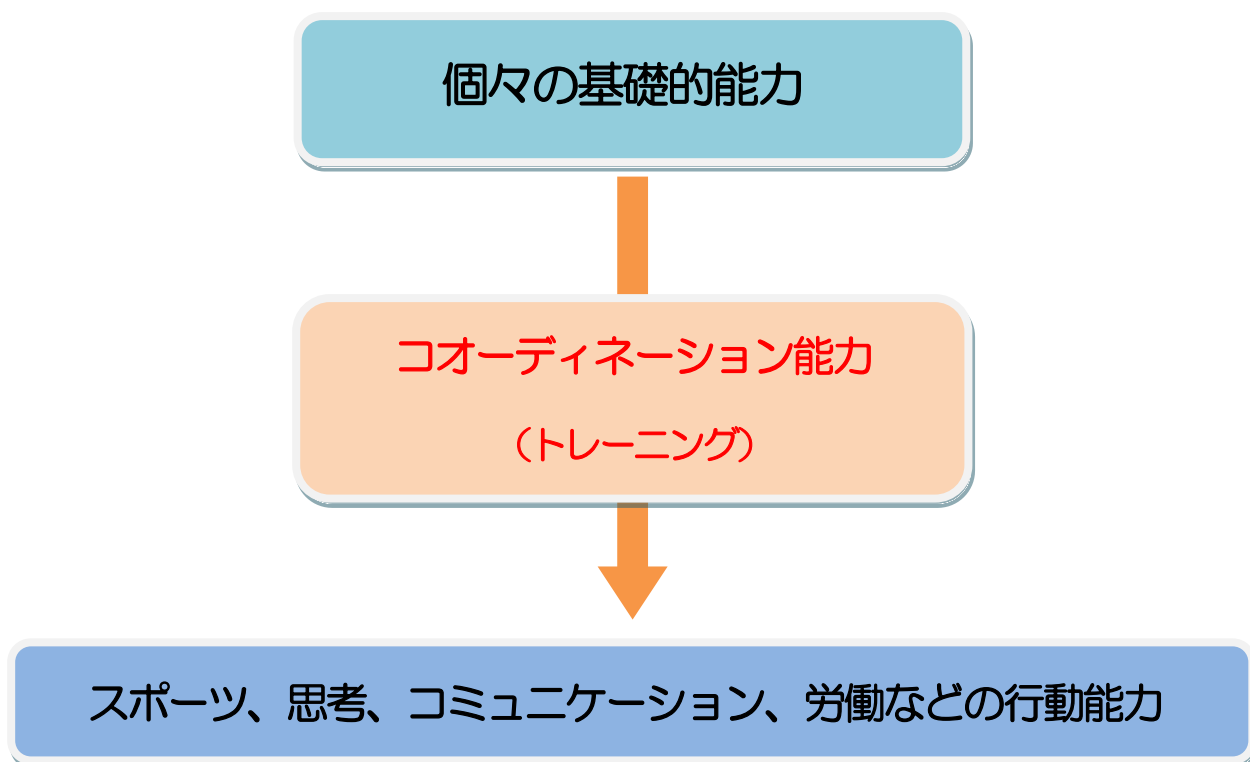
指導 体育協会、スポーツ推進委員、スポーツ少年団指導員、育成会員、教育委員会



コーディネーショントレーニング

感性、知性の発達にもつながる能力向上を目指したもの

子どもたちの中には、バランスをとるのがうまい子どもや、リズムに合わせてからだを動かすのが得意な子どもがいる。このような子どもたちの動きに隠されているのが「コーディネーション能力（状況を目や耳などの五感で察知し、それを頭で判断し具体的に筋肉を動かすといった一連の過程をスムーズに行う能力）」であり、この能力を高めるための、科学的に裏付けされたトレーニング方法である。



新しい運動や、これまでできなかった動きが、
数回の練習でできるようになる。

※コーディネーションの「オ」はコミュニティ (Community)、コミュニケーション (Communication)、コワーク (Cwork) の「CO=コ」の重要性を強調するために用いている。

第10期中川町社会教育中期計画
【令和2年度～令和6年度】

令和2年3月

編集・発行／中川町教育委員会

〒098-2802 北海道中川郡中川町字中川 217 番地 2

TEL 01656(7)2877 FAX 01656(7)2110

ホームページ <http://www.town.nakagawa.hokkaido.jp/>
